

令和4年度 あすなろ幼稚園 学校評価（教職員）結果報告

1 本園の教育目標

「豊かな情操と社会性をもつこども」

「我慢強い 頑張りのきくこども」

教育基本法、学校教育法及び幼稚園教育要領に基づき、私学教育の特色を生かして人間形成を行い、強く、正しく、明るく、優しく、豊かな情操と社会性を持つこどもの特に、苦難やつらさに耐えていける我慢強いがんばりのきく子どもを育てる。

2 本年度の重点

評価項目に沿い、自己点検、自己評価を実施することによって教職員自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

粘り強く取り組む子の育成

3 評価項目

A十分に達成 B概ね達成 C取り組んでいるが不十分 D大幅な改善が必要

(1) 園運営について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園の教育目標や本年度の重点が職員間で共通理解が図られている		○		
2	施設設備等の教育環境の充実・設備に努めている		○		
3	園内の園務分掌・役割分担が明確に決まっている	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>今年度の重点については、具体的な言葉で表し、園が目指す子どもの姿を明確にして全職員で共通理解を図りながら園児一人一人の成長を大切にしたクラス経営の充実を目指すことができた。また、重点目標については、今後、保護者にも広く周知をするよう努めていく必要がある。園務分掌については、業務内容を文章化し、すべき役割を明確にして円滑な園運営に結び付けることができた。</p>					

(2) 教育課程・指導計画について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	地域の自然や施設を活用した教育課程・指導計画を作成している		○		
2	園児の年齢や発達段階に応じた教育課程・指導計画を作成している	○			
3	常に行事や日常保育の反省を生かした指導計画の改善に努めている		○		
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>幼稚園の教育目標「豊かな情操と社会性をもつ子ども」「我慢強い 頑張りのきくこども」の具現化のため、幼稚園教育要領を踏まえ、指導計画に加筆、修正を加えつつ、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した教育課程及び指導計画を作成していく必要がある。また、行事や日々の保育の反省を活かして、次年度への改善に結び付く指導計画を継続的に見直していくよう常に意識していく。</p>					

(3) 環境構成について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園内外の清掃、整理整頓、換気、採光、室温、消毒に気を配り、安全に生活できる環境づくりをしている	○			

2	毎月、園内外の施設安全点検を実施し、修繕するよう努めている		○		
3	年齢や発達に応じた遊具、おもちゃ、教材、絵本等が準備されている	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>今年度も感染予防対策や対応に追われたが、保護者にはその都度、お知らせし、ご理解ご協力をいただいた。今後も毎日の消毒・換気等感染症対策を徹底継続していく必要がある。</p> <p>また、毎月、安全点検はしているものの園舎及び遊具等が古いため金額の張る修繕や全ての補充要請に即時に応じられない実態が課題となっている。おもちゃについては各種補助金制度の活用で補充し、絵本については、毎年、各学年向けに数十冊補充されている現状である。</p>					

(4) 指導内容・方法について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	遊びを通して集団生活のルールを学んだり、我慢や粘り強さを培う経験を意図的にさせている	○			
2	園児が意欲的に造形活動（描画・製作等）や音楽活動、運動遊びに取り組む時間を十分に設定している	○			
3	メリハリのある全体指導と個に応じたきめ細かな指導を心がけている	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>日々の生活や遊び、行事への取組の中で、集団生活のルールを学び、思い通りにはならないことへの我慢や苦手なことにもあきらめずに取り組む粘り強さを身に付けさせることができた。</p> <p>指導方法については、職員同士で指摘・アドバイス・相談をし合える風土が構築されている。今後も、自己流の保育にならないよう幼稚園教育要領を再確認し、理解を深めた上で、よりよい子どもたちの成長に繋がる指導方法の向上を図りたい。また、子どもたちが、楽しい園生活を送り、園児の経験を豊かに広げることができるような保育内容の提供に努めていく。</p>					

(5) 保育者の資質向上について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	研修や研究会に自己課題をもって臨み、自己課題の改善や、自分の能力を一層高めるよう努めている	○			
2	幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿を意識した活動を工夫展開し、指導に努めている	○			
3	園児の実態を把握し、興味関心に応じた活動を展開できるよう常に教材研究を行っている。	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>今年度は、道北ブロック研究会において公開保育園となり、年少組が「楽しく運動～まねっこあそび」をオンラインにて公開した。助言者の先生はもとより参会者からも高評価をいただき、盛会裏に終えることができた。幼稚園教諭としての自信と研修意欲に繋がっている。</p> <p>園内研修としては、ケース会議を開いて、クラス運営や子どもの成長、困り感のある子どもの指導方法等、情報交換する場を設け、各教諭の学びの場となっている。幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿については、日々、意識しながら日々の保育に当たりたい。</p> <p>また、毎月2回、自園に音楽講師を招聘し、課題曲や行事曲を指導していただき、担任教諭のピアノ技術を高める研修を実施している。</p>					

(6) 特別支援教育

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	特別な支援を必要とする園児について教職員全員で共通理解を図り、支援体制を整えている	○			
2	特別な支援を必要とする園児について関係機関との連携が適切に図られている	○			
3	特別支援教育について理解を深め、園児の困り感に対応する支援に努めている	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>支援の必要な子どもの特徴や個々への対応について、有効な支援方法を職員全体で共有するケース会議を設けている。特に、大きな行事の際には、それぞれの子どもへの具体的な関わり方についていくつかのパターンを想定し、保護者にも了解を得て全職員で共通理解を図りながら取り組んでいる。</p> <p>各種関係機関との連携については、保護者の同意を得た上で、個別の支援計画等を提供いただいたり、長期休業中を利用して関係機関での子どもの様子を見学したり、通常時には来園していただいたりするなど、双方向でのきめ細かい連携が図られている。</p>					

(7) 家庭・地域との連携

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園だより・クラスだより・HP等で幼稚園の情報を適切に伝えている	○			
2	未就園児への園開放や保護者の要望に応じた預かり保育を実施し、子育て支援に努めている	○			
3	行事への積極的な参加や幼稚園運営への理解・協力を促している		○		
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>園だより・クラスだより・HP・連絡アプリ等で日々の活動報告、各種連絡、子どもの成長の様子など継続的に幼稚園の情報を発信し、家庭地域へ幼稚園教育に対する理解を深めることができた。特に、日々の保育活動については、連絡アプリでほぼ毎日、情報発信しており、保護者からも高評価をいただいている。</p> <p>また、個人懇談週間を設定し、個々の子ども様子や保護者からの要望など聞き取り、意思疎通を図っている。緊急時には、メールにて連絡事項を保護者に迅速、正確に伝え、情報提供をスムーズに行う事ができている。</p> <p>今年度は園開放申込者が常時10数名おり、次年度の入園につなげることができた。その際、子育て相談を受けることも多く、保護者の支援も実施できている。</p>					

(8) 危機管理について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園の施設の安全点検、消毒等の衛生管理をしっかりと行っている	○			
2	諸費等の会計処理を正確に行っている	○			
3	保育等の問題や保護者から出た意見は必ず園長に報告している	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>定期的に不審者対応や地震、火災など緊急時や災害時における避難訓練を実施しているが、今後、様々な災害を想定しながらその対応方法や職員の役割分担の理解を一層深め、災害に備えていく必要がある。また、いかなる時も子ども自身が「自分の命は自分で守る」という意識をもち、</p>					

子ども自らが行動できるよう育んでいきたい。

また、帰りの打合せでは、各クラスの活動や成長の様子、問題等報告し合い、全職員で確認するとともに「ヒヤリハット」記録を導入し、職員の危機意識の高揚を図っている。

今年度も特に大きな事故や怪我、苦情などなく保護者の協力の下、幼稚園運営ができたことに感謝したい。

4 学校関係者評価委員会結果

○予防的に登園を自粛することができるので、感染症の蔓延時期には園児たちの欠席状況を知ることができればありがたいと思う。

○コロナ禍でも、できる範囲で積極的に外遊びを取り入れてくれてありがたく思っている。以前は公園に行ったり、お散歩やどろんこ遊びをしたりができたが、今はなかなかできない状況にある。コロナが落ち着けば、幼稚園だからこそできる子ども同士の交流のある遊びを取り入れていただければありがたい。

○園児が楽しみながら遊びを覚えていくことは大事だ。遊びの中で先生方が園児の状況をしっかり見て、園を安心して過ごせる空間にしてもらいたい。また、今後も新たな園の良いところを確認しながら、改善も取り入れて運営をすすめてほしい。

子どもたちは年齢が違えば、性格も違う。子どもたちが孤独感を味あわないように安心できる園を目指してほしい。